令和８年３月

RIUM ARCHITECTS

目次

1 計画概要

01 計画の背景と目的 1
02 与条件及び要求事項 1
03 計画コンセプト 1
04 敷地概要 2

2 厚南会館・ゼロカーボンビレッジとの連動

01 上厚真コア内での位置づけ 3
02 コミュニティ施設の機能、用途の検討 3
03 タウン MTG 4

3 建築計画

01 計画概要 6
02 配置計画・外構計画 7
03 平面計画(1 階) 8
04 平面計画(2 階) 9
05 立面計画 10
06 断面計画 11
06 仕上げ計画 12
07 構造計画 13
08 外皮計画 13

4 電気設備計画

01 計画概要 14
02 再エネ導入計画 14

5 機械設備計画

01 計画概要 14
02 再エネ導入計画 14

6 事業計画

01 事業スケジュール 15
02 工事概算 15

7 基本設計図

・配置図
・仕上表
・1 階平面図
・2 階平面図
・立面図 01
・立面図 02
・断面図

1 計画概要

01 計画の背景と目的

上厚真地区は、厚真 IC に近接し、苫小牧市や千歳市への通勤圏内に位置する等、交通の利便性が良いことから、その地理的特性を活かし、「子育て世代を中心に多くの移住・定住者を受け入れられるまちづくり」をテーマに、子育て支援重点エリアとして地区整備事業を推進してきました。

これまで町では、認定こども園「宮の森こども園」や「上厚真中央公園」の整備、分譲地開発「上厚真きらりタウン」では、戸建て住宅や子育て支援住宅建設を促進、最近では上厚真北部の未利用地を活用した「ゼロカーボンビレッジ」の整備にも着手しています。昨今、これらの取組により地区人口増加していることから、市街地の空き家や空き店舗を利活用し、サテライトオフィスやコン

「上厚真コミュニティ施設」の新築については、上厚真地区に位置づけた「上厚真コア」を中心に賑わいの創出や多様な交流を図ると共に、ゼロカーボンビレッジへの移住者の快適な暮らしの創出にも寄与することを目的とします。

02 与条件及び要求事項

本計画は上厚真コア全体を通しての計画の一環であることを認識し、特に厚南会館整備事業とは建物用途の補完や、機能のすみ分け、地域に対する役割分担など密接に関連することから計画の情報共有を図り、設計を進めます。

都市構造再編集中支援事業を活用することから、高次都市施設として必要な諸要件を満たします。特に、省エネへの対応としては ZEB 水準に適合するものとします。その他、必要要件については別添の都市構造再編集中支援事業計画書によります。

03 計画コンセプト

厚南会館改修整備事業が町内、町外のハブ的交流機能及び、町の公的催しに利用想定をするのに対して、ゼロカーボンビレッジにより近くに位置する上厚真コミュニティ施設は近隣住民の日常的交流の拠点とし、二施設の複合的活用による上厚真コアの賑わいと、交流促進を図ります。移住した町民と、地区住民のスムーズなコミュニティ創出など上厚真地区全体の交流人口の増加に寄与する施設として計画します。

賑わいの創出と多様な交流促進

・図書室機能を設置し学習と知的情報共有の場とします。
・チャレンジカフェやイートインができる団らんスペースを設け交流を促進します。
・DIY 教室や各種セミナー開催など活動の幅をひろげる屋外スペースを計画します。

ウォーカブルな街並みの形成

・厚南会館、ローソン、ゼロカーボンビレッジなどと連携した面的な街並み形成を意識します。
・駐輪所やバリアフリーWC などを完備して車以外でも立ち寄りやすい施設とします。
・夏場には屋外で小さなイベントができるような設えも計画します。

地域内交流拠点(HUB)としての集会所と、近郊地域との交流拠点(HUB)としての厚南会館の連携

・厚南会館の機能整理をするなかで補完すべき機能を割振り合理的な計画を行います。
・地域内交流を集会所、近郊地域交流を厚南会館とし性格の異なる HUB 機能を設えます。
・集会所はより日常的な催事や交流ができるような設えを計画します。

04 敷地概要

敷地は変形 5 差路の角地で、北側と東側が道路に面しています。今後の道路整備により 5 差路の解消がなされ視認性と安全性が向上する予定です。敷地西側には古い住宅があり、南側は小規模倉庫を挟んで組積造の象徴的な倉庫があり、道路むかいにはローソン上厚真店が位置しています。
敷地の形状は多少いびつですが、高低については概ねフラットです。また、近隣の実績から地盤は軟弱地盤に類することが想定されます。

□所在地
・勇払郡厚真町上厚真 116-1・117-1

□敷地面積
・317.53 ㎡

□道路
・北 側 ：42 条 1 項 1 号道路 6.0M
・東 側 ：42 条 1 項 1 号道路 6.0M

□既存建築物
・無し

□用途地域
・都市計画区域（市街化区域）
・準工業地域

□建蔽率・容積率
・建蔽率： 60%
・容積率： 200%

□災害危険区域等
・指定なし

□積雪量・凍結深度
・垂直積雪量：80cm 以上
・建物に対する凍結深度：80cm 以上











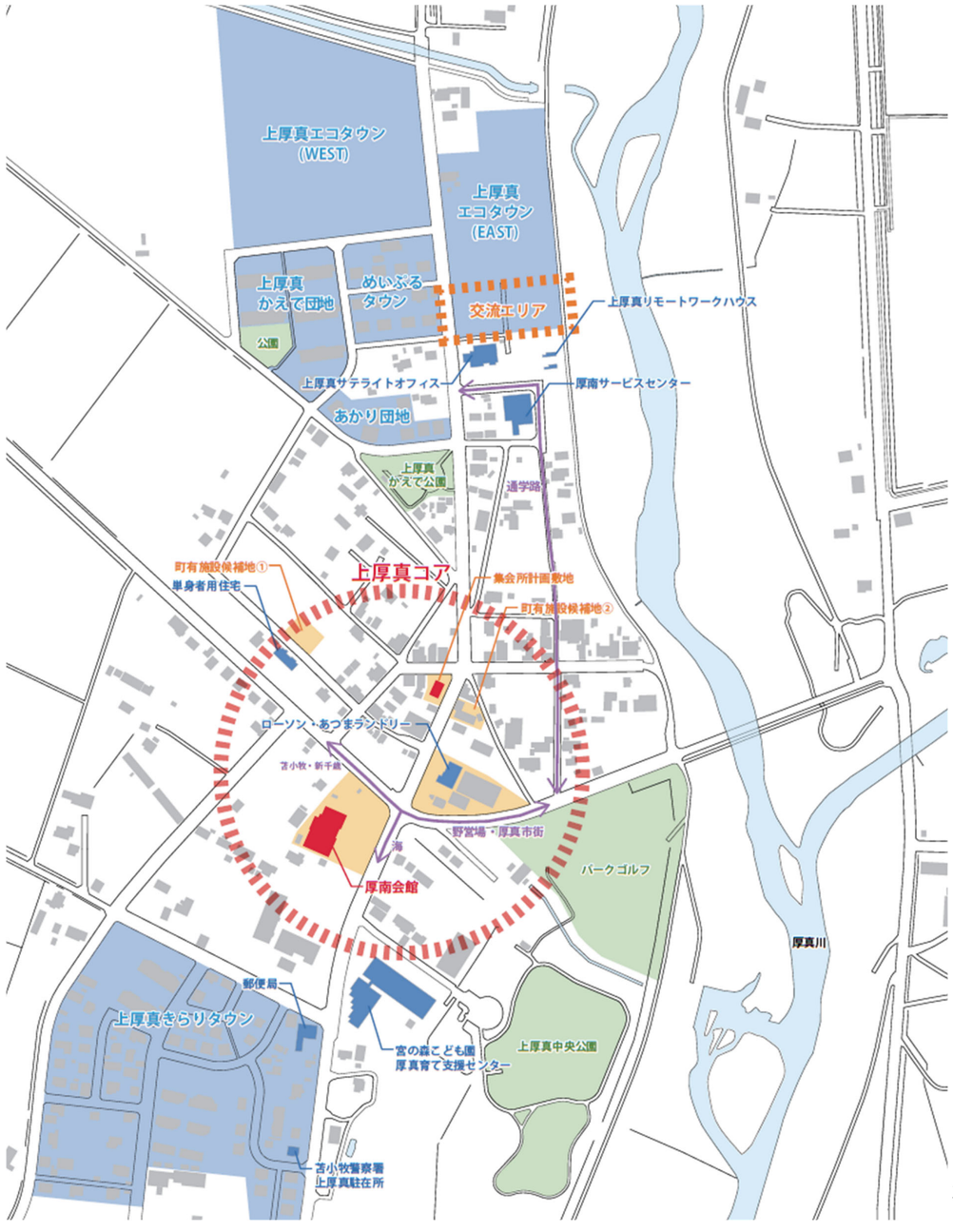




2 厚南会館・ゼロカーボンビレッジとの連動

01 上厚真コア内での位置づけ

上厚真地区は、新たに開発整備する住宅分譲地「上厚真エコタウン」を含め、エリア南北の居住エリアと中心部である「上厚真コア」それぞれの役割、機能を明確にし、上厚真市街地全体のまちづくりにおけるコンセプトや整備ポリシーなどエリアデザインを行なっている。
「上厚真コア」は、道道の交差点から半径 500ｍを範囲としたエリアです。このエリアには「厚南会館」・「ローソン・厚真ランドリー」のほか、今後町有（公設民営型を含む）の交流施設や店舗などの計画もあります。基幹道路を含むエリアは郊外からの交通の便も良く、地域に関しては南北に広がる住宅エリアの中心に位置し、徒歩、自転車でも軽に立ち寄れるためエリアです。そのためこのエリアは今後、交流拠点の集積を行い HUB 機能として地域の活性化を図る計画です。



02 コミュニティ施設の機能、用途の検討

コミュニティ施設の機能については厚南会館と合わせて検討していきます。
大きく分類すると厚南会館が近郊地域を含む対外的な交流拠点機能(おおきな HUB 機能)とするのに対し、コミュニティ施設は地域に開かれ気軽に日常使いができる交流拠点(ちいさなＨＵＢ機能)と設定します。両施設が機能を補完することで現状の厚南会館のミスマッチを解消するとともに新たな地域の居場所つくりと位置づけます。

■既存機能の区分

厚南会館に維持する機能	コミュニティ施設へ移転する機能
祭事・集会・学習・住民活動・防災・その他	役場支所・図書

03 **タウン** MTG

現状の厚南会館の使用状況や課題について、上厚真町の地域住民や有識者を対象にタウンミーティングを行い、意見交換を行いました。

①実施概要

・実施期間：2026 年 2 月 25 日（水）
・対　　象：上厚真町の地域住民
・場　　所：厚南会館 第二会議室
・参加人数：13 人



タウンミーティングの様子

②実施方法

各テーブルで意見交換するテーマを設定し、所定の時間まで意見交換を行った後、他のテーブルへ移動し、３つのテーマについて意見交換を行いました。

グループワークのテーマ

A.　厚南会館や上厚真コミュニティ施設でやりたいこと・改善したいこと

B.　上厚真全体・中心市街地の魅力を向上するために取り入れたいこと

C.　上厚真で「始めたい」「続けたい」「応援したい」活動やイベント

①各テーマに対する意見

テーマ A：厚南会館や上厚真コミュニティ施設でやりたいこと・改善したいこと

葬儀の機能を厚南会館に残し、葬儀と他の活動を両立させる意見が多数ありました。また、厚南会館のみの計画とし、運動施設の機能拡充や避難所としての強化についても意見がありました。改善したい点については、新たに住み始めた方との交流がないという意見も多くあります。

□ 厚南会館について
・葬儀の予定が入ると他の日程がキャンセルになる。また、この状況にも慣れている。
・3～6 階の防災タワー施設としてもよいのでは。
・厚南会館とコミュニティ施設で機能を分ける必要はないのではないか。
・ジム等、スポーツ系の施設を充実してほしい。
・外部交流の機会をつくる為に、合宿などができないのか。
・屋上を避難場所やビアガーデン等として利用ができるようにしてほしい。
・厚南会館に葬儀スペースは必要。
・葬儀の予定が入っても静かなイベントであれば他の予定が入っても問題ないと思う。
・葬儀の予定が入った時は森こども園でイベントを行っても良いのでは。
・コミュニティ施設を造らず、厚南会館を改修、建替えし、厚南会館のみで必要な用途機能を満たせる計画の方が良い。
・エレベーターを設置してほしい。

□地域全体について
・新しく上厚真に来た方との交流がない。
・夏のイベントは食べ物や飲み物が足りないくらい人が集まる。
・葬儀場をつくる。
・小さな図書館（借りるだけ）としても使える葬儀場があっても良いのでは。



上厚真地区の全体模

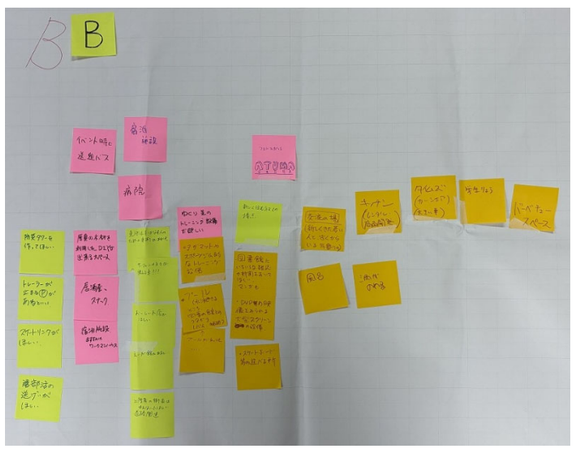


テーマ A の意見メモ

テーマＢ：上厚真全体・中心市街地の魅力を向上するために取り入れたいこと

外の活動場所を増やす意見が多く、それに合わせて移動手段を改善しようとする意見も多数見受けられました。また、上厚真に宿泊施設がないことから、宿泊施設を設ける事で向上する魅力についても意見が多数ありました。

・イベント時に送迎バスがあると便利。
・宿泊施設があると良い。
・近くに病院があると便利。
・上厚真地区に防災タワーを造る。(川から西側へ６階建)
・厚真の木材を利用した DIY ができるスペースをつくる。
・送迎バス。運転免許証を返納した方等が利用。
・厚真町総合ケアセンター（ゆくり)と同等のトレーニング設備を完備する施設があっても良い。
・新しく上厚真町で暮らす方との接点をつくる。交流の場や機会があれば、昔から住んでいる方は気さくな方が多いのでコミュニケーションは生れると思う。
・部活の合宿等の際に大きな車が借りられるカーシェアやレンタカーがあると便利。サーフィンをする人にも需要がある。
・大型スクリーンで DVD 鑑賞ができる場所をつくる。
・スケートボードなどのウインタースポーツができる場所をつくる。
・学生寮があってもいいのでは。
・バーベキューができる場所をつくる。
・トレーラーが停まる駐車場があるといい。
・スケートリンクをつくる。
・部活の送迎があるといい。
・居酒屋やスナックをつくる。
・町外労働者が泊まれるワークマンハウスをつくる。
・おいしいお店があると良い。
・駐車場などを利用し、屋外映画上映ができる場所があると良いのでは。
・上厚真の町並みは変えないでほしい。
・プールがあっても良い、又は「道の駅むかわ四季の館」までの送迎バスあると良い。
・図書館にもっと多様な雑誌や新聞、漫画があっても良い。



テーマＢの意見メモ

テーマＣ：上厚真で「始めたい」「続けたい」「応援したい」活動やイベント

今も続いているイベントはそのまま継続しつつ、新たに始めたいイベントや活動について多くの意見がありました。

□「始めたい」
・朝市
・ローソン前で歩行者天国
・キッチンカー
・運転代行、送迎バス、ローカルバス
・サーフィン交流体験イベント
・家庭菜園の講習会
・映画上映
・移動居酒屋

□「続けたい」
・ミニバレーの集まりや飲み会を厚南会館で開催していた。（今は自宅で開催している）
・厚南会館での盆踊り
・上厚真神社まつり
・おみこし
・もちつき
・浜厚真地区との連携（サーフィンやサッカー）

□「応援したい」
・ｅスポーツ（こどもが大人にレクチャー等も）
・スポーツクラブ（バドミントン等）
・健康促進



テーマＣの意見メモ

3 建築計画

01 計画概要

建築計画における概要を下記の通り記します。

■建設地　　：北海道勇払郡厚真町上厚真 116-1・117-1

■用途地域　　：準工業地域

■建物用途　　：集会所

■構造規模　　：木造 2 階建て

■敷地面積　　：317.53 ㎡

■建築面積　　：180.17 ㎡

■延床面積　　：229.46 ㎡

■主な外部仕上げ

・屋根　　：塩ビ系シート防水
・軒天　　：ガルバリウム鋼板 t=0.4 平葺き
・外壁　　：羽目板張り t=15 木材保護塗装
・外部サッシ：樹脂アルミ複合サッシ
・ポーチ　　：磁器質タイル張り

■主な内部仕上げ

・床　　：磁器質タイル ｜ タイルカーペット
・壁　　：ビニールクロス ｜EP-G 塗装 ｜ シナベニヤ
・天井　　：ビニールクロス ｜ 化粧石膏ボード

■電気設備概要

・幹線　　：低圧受電
・照明　　：LED 照明、各種センサー、各種タイマー
・放送　　：BGM スピーカー、イベント用 AV ワゴン
・通信　　：公衆無線 LAN、有線 LAN
・防火　　：消火器、誘導標式、排煙上有効な開口部
・エレベーター：小型エレベーター(車いす対応)

■機械設備概要

・冷暖房　　：EHP エアコン方式
・換気　　：第 1 種換気、第 3 種換気
・給水　　：水道直圧方式
・排水　　：自然流下、浄化槽方式
・衛生　　：大便器、小便器、洗面器、手摺、パブリックキッチン

※再エネ導入について

オンサイド PPA を前提に太陽光発電システムの運用を実施設計にて検討する。

その他、発熱コンクリート、蓄電コンクリート、ペロブスカイト発電、ソーラーカーポートなども同様に実施設計時に検討する。

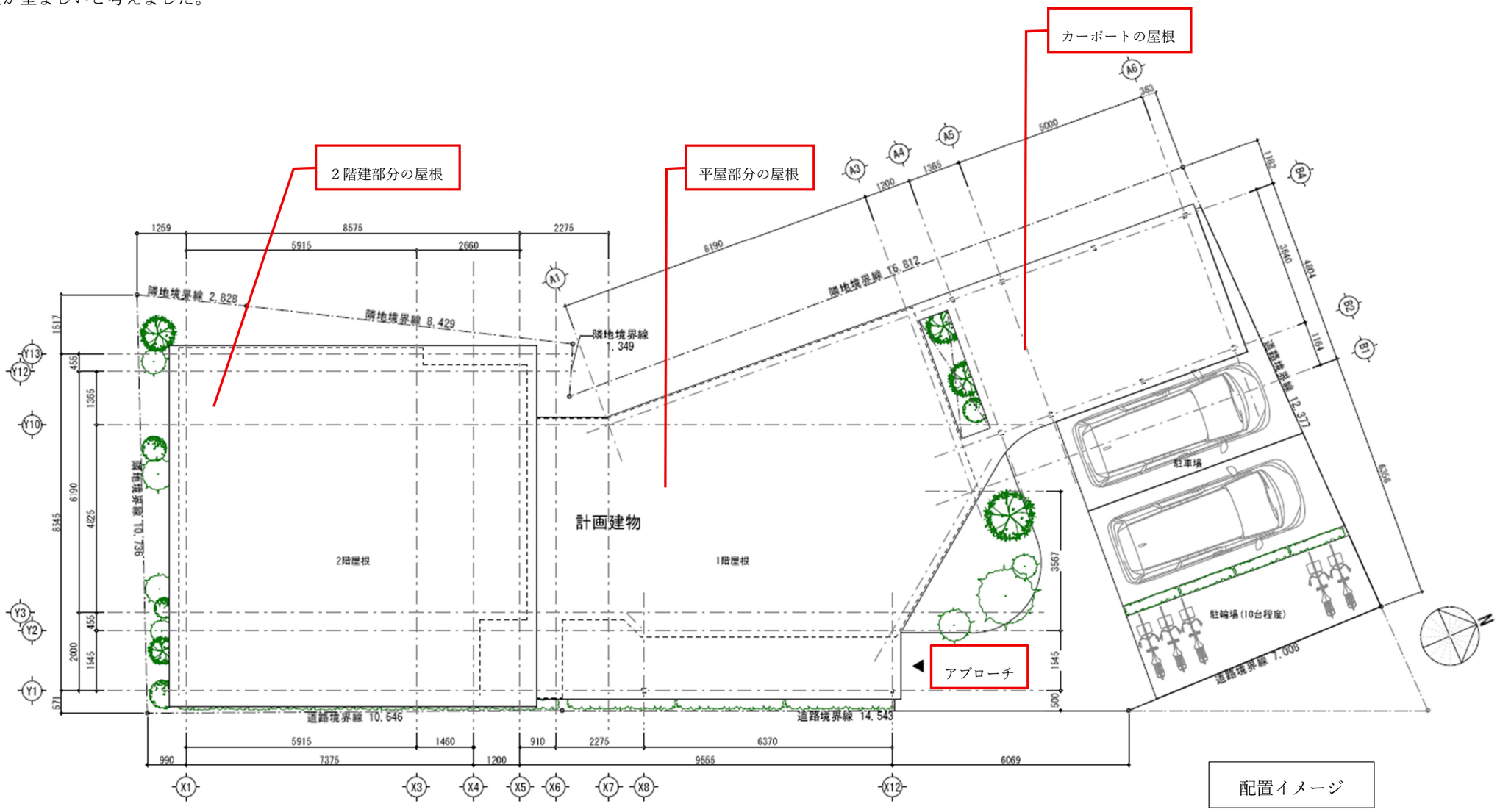
■関係法令

・建築基準法
・建築基準法施行令
・都市計画法
・北海道条例
・消防法
・北海道福祉のまちづくり条例
・建築物省エネ法

02 配置計画・外構計画

機能要求を満たすためには概ね 200 ㎡の床面積は必要となるが、敷地面積が 317 ㎡で建蔽率が 60%のため、自ずと 2 階建ての計画となります。また、5 差路に面する敷地北東の角は視認性の確保や、通りに対する圧迫感の軽減、まちなかのポケットパーク的な役割を果たすちいさなオープンスペースの設置が望ましいと考えました。

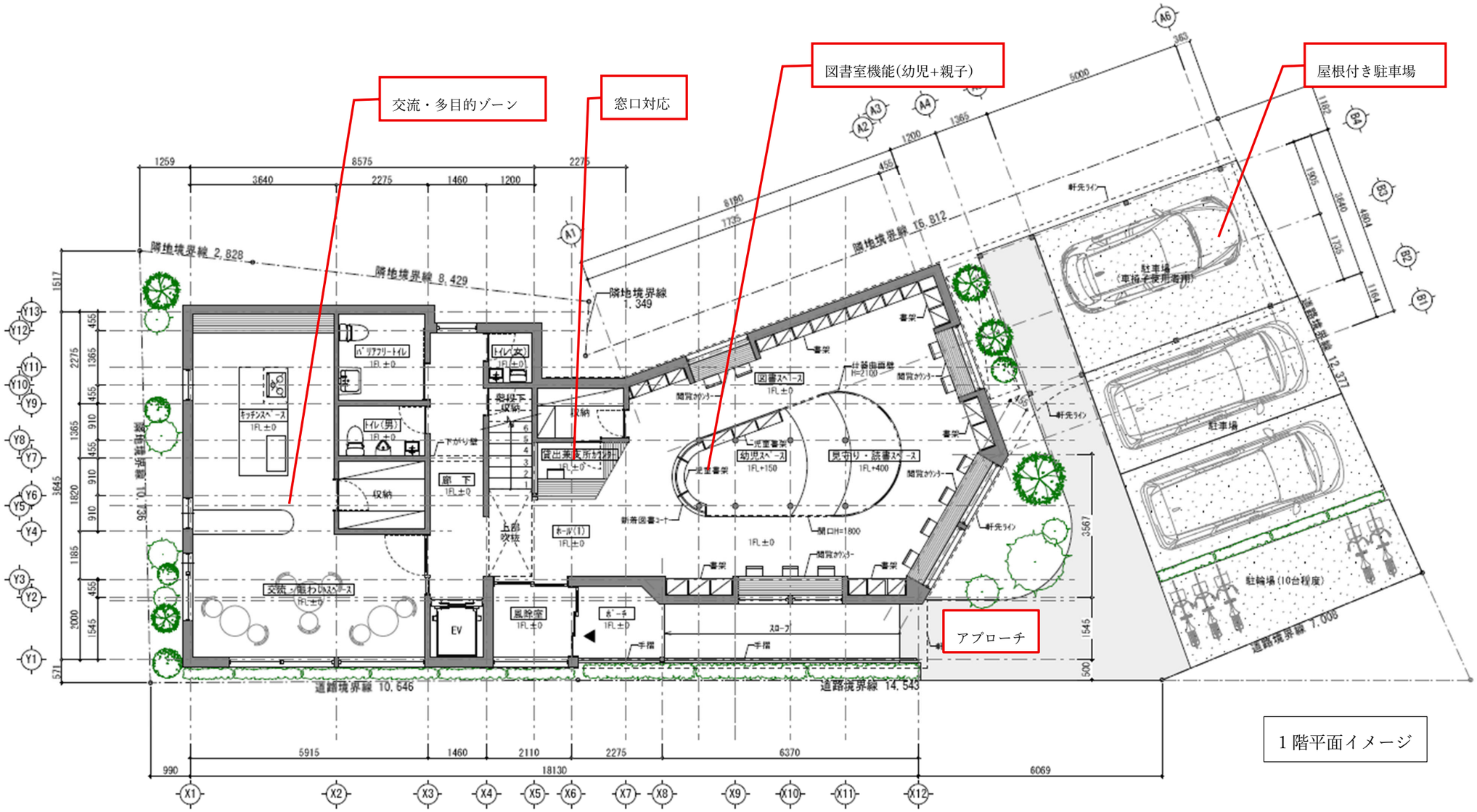
交差点側は平屋建てとし、南側を 2 階建てとすることで南面外壁を確保し、オンサイド PPA への備えとしています。その他ウォーカブルな街並み形成のための駐輪所や、屋外でのイベント、イートイン、ワークショップにも対応する屋根付きカーポートを設けます。



配置イメージ

03 平面計画(1 階)

1 階は 5 差路の北側の道路に面して駐車場を 3 台分確保します。内、 1 台はカーポートタイプの駐車場となっており、屋外の屋根付きのイベントにも対応したします。不足する駐車場については近隣とシェアすることを前提に計画します。
ゾーニングは大きくエントランスから南側に交流・多目的スペースを配置しており、北側には図書機能のうち、幼児と親子、カウンターによるブラウジングスペースを主としています。また、新庁舎内に計画中の図書館が貸出し対応をしないことから、貸出機能と、役場支所の相談機能を有するカウンター窓口を整備します。交流スペースにはパブリックキッチンを配置し気軽にお茶をしながら交流ができる設えを計画します。

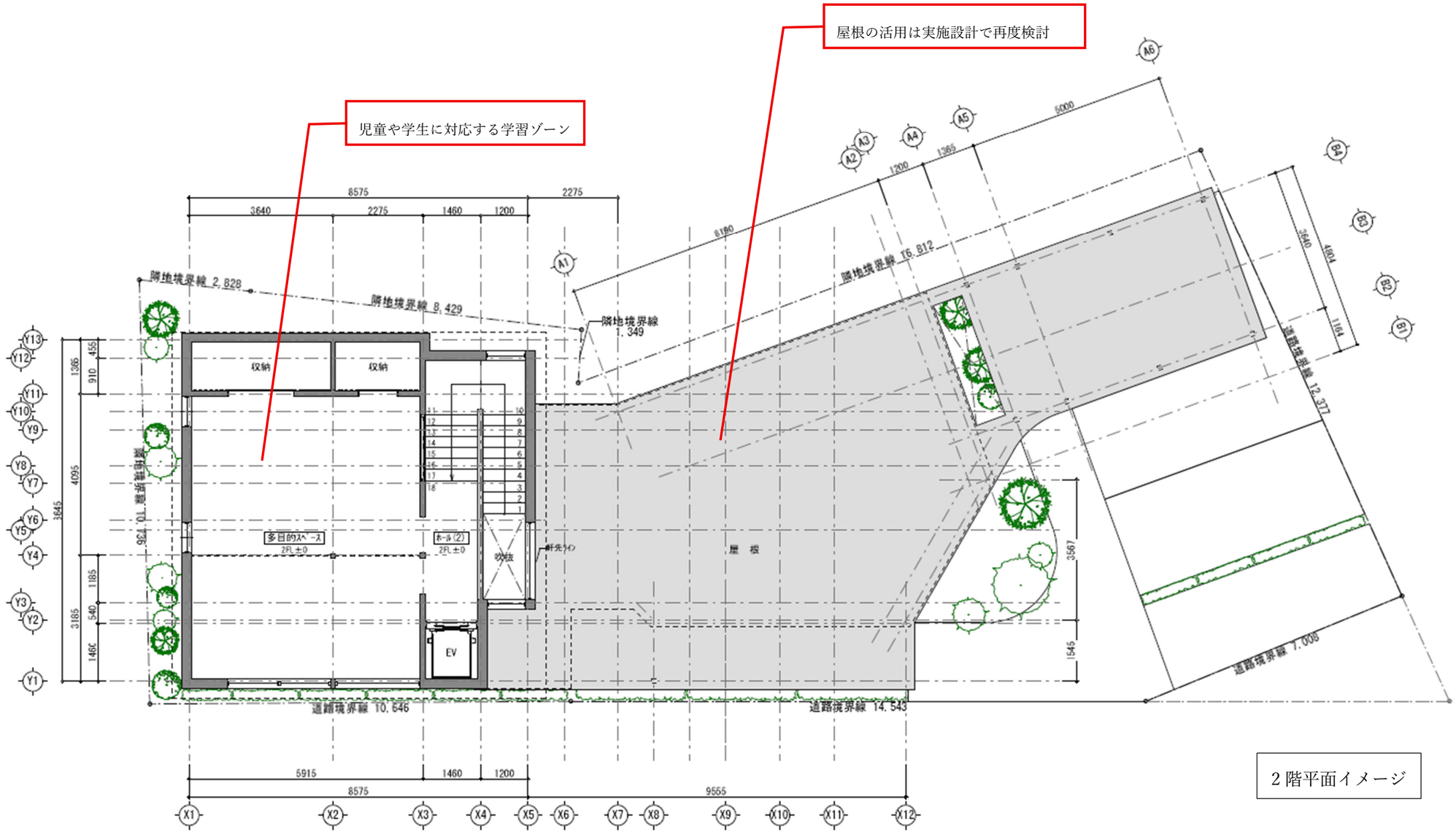


1 階平面イメージ

04 平面計画(2 階)

2 階は多目的スペースとしていますが、１階の幼児や親子と比較してもう少し大きな児童や、学生を対象にしたフロアを想定しています。その他、個別やグループでの地域の学習の場とします。その他、映像学習などにも対応します。

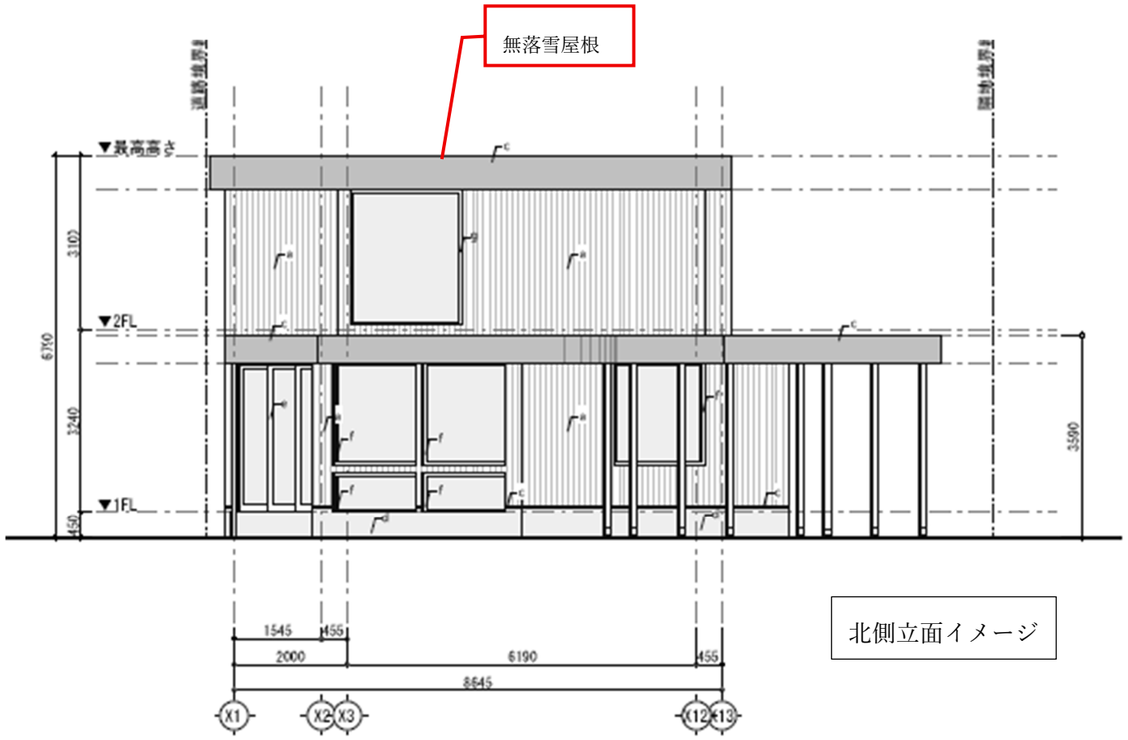
１階屋根の活用については実施設計時に再度検討とします。



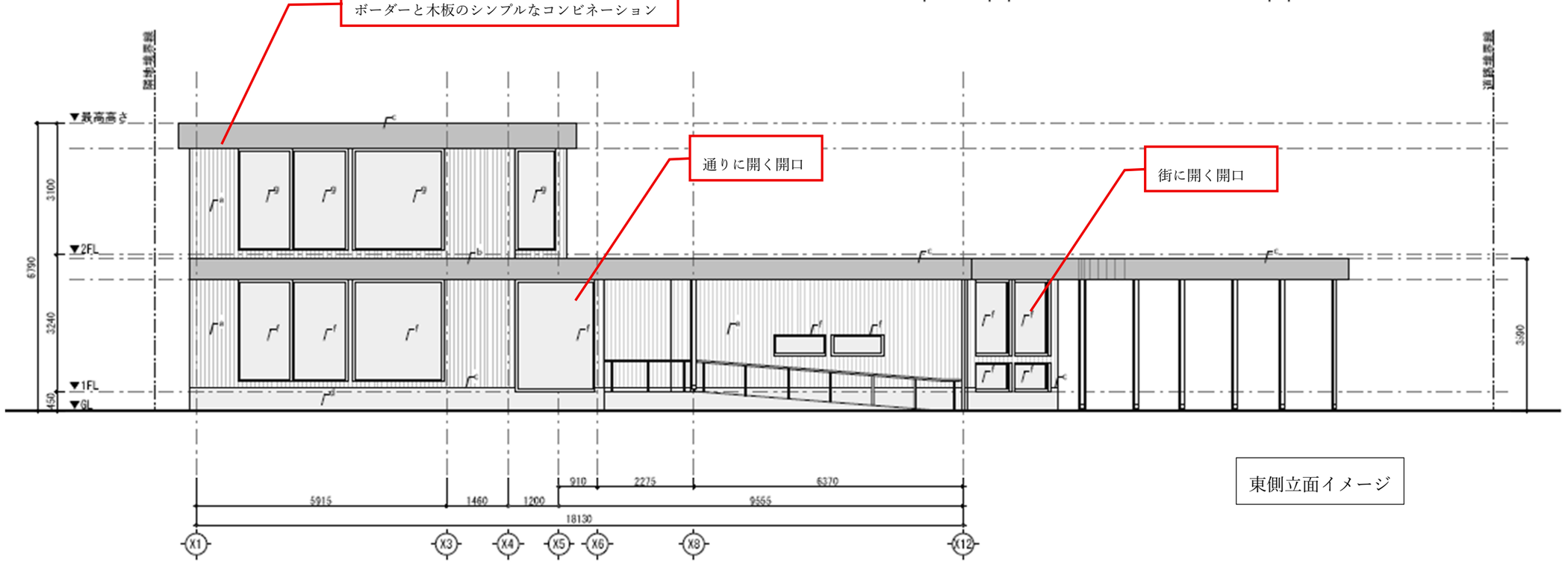
2 階平面イメージ

05 立面計画

敷地にゆとりがない配置計画となることから無落雪屋根の計画とします。
帯状のボーダーを配し木板貼りとのコンビネーションを用いてシンプルで調和のとれた立面計画とします。開口部については特に北東から東面にかけて、内部の活動の様子、内部の灯りが通りと滲み出していくことを強く意識します。
オンサイド PPA については垂直の建材一体型 PV を含め実施設計時に検討することとします。



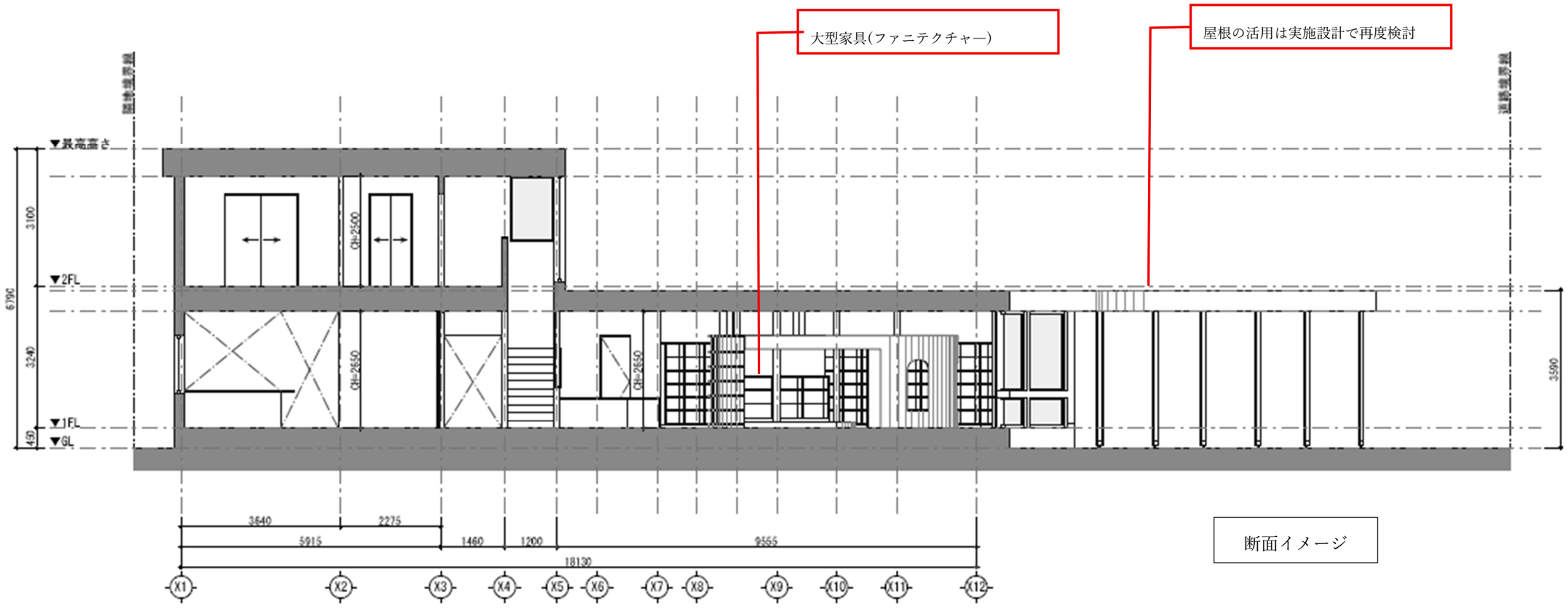
北側立面イメージ



東側立面イメージ

06 断面計画

断面計画は在来木造を前提に、一般流通集成材を中心とした計画をします。階高や天井高さについてもヒューマンスケールを逸脱しないように配慮して、幼児のゾーンについては大型家具(ファニテクチャー)によって安心感のある設えを施します。
無落雪で計画する屋根について、屋上利用については実施設計時に再度検討をすることとします。



断面イメージ

07 仕上げ計画

仕上げ計画について、特に木材について道産材活用を積極的に検討します。
その他、地域材木材の利用検討や更新性を考慮したマテリアル検討など、エンボディドカーボン・オペレーショナルカーボンの抑制にもつとめます。

外部仕上表

屋根		塩ビ系シート防水	断熱	ブローイングGW 18K t=300 吹込み	※防湿シートは欠損なきよう留意のこと ※隅角部の巻き込み、重ね代に注意 ※その他断熱欠損の恐れのある箇所は現場発泡ウレタン吹付けのこと	外部建具	風除室入口	木製引戸（ハンガータイプ） （ガラス入り框戸）	備考	
破風・軒天		ガルバリウム鋼板 t=0.4 平葺き	断熱		※防湿シートは欠損なきよう留意のこと ※隅角部の巻き込み、重ね代に注意 ※その他断熱欠損の恐れのある箇所は現場発泡ウレタン吹付けのこと		玄関ドア	木製断熱ドア（SATタイプ） （ガラス入り框戸）		
壁	外壁	道南杉羽目板 t=15 カラーオイルステイン塗装	断熱	高性能GW 24K t=105 ＋フェノールフォーム保温板t=60	※防湿シートは欠損なきよう留意のこと ※隅角部の巻き込み、重ね代に注意 ※その他断熱欠損の恐れのある箇所は現場発泡ウレタン吹付けのこと		サッシ（1階部分）	木製断熱窓（アルミカバータイプ） 複層ガラス仕様 Low-Eガラス（クリア）アルゴンガス		
	1、2階 見切帯	ガルバリウム鋼板 t=0.4 平葺き					サッシ（2階部分）	高性能樹脂窓 複層ガラス仕様 Low-Eガラス（クリア）アルゴンガス		
床	ポーチ スロープ	屋外用磁器質タイル（グリップタイプ）200角張り	断熱（基礎）	FP板（8-3）t=60 打込み スカート断熱工法	※防湿シートは欠損なきよう留意のこと ※隅角部の巻き込み、重ね代に注意 ※その他断熱欠損の恐れのある箇所は現場発泡ウレタン吹付けのこと					
	通路	カラーアスファルト敷								
	駐車場・駐輪場	カラーアスファルト敷								

内部仕上表

		床	下地	巾木	高さ	壁	下地	天井	天井高	家具	備考
1階	風除室	屋外用磁器質タイル（グリップタイプ）200角張り	CON	磁器質タイル貼り 100角	100	PB t12.5 ～ビニルクロス貼り	※	PB t9.5 ～ビニルクロス貼り	2650	木製情報ラック（A4サイズチラシ6段分）1800×1800×75	
	ホール（1）	屋外用磁器質タイル（グリップタイプ）200角張り	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～ビニルクロス貼り	※	PB t9.5 ～ビニルクロス貼り	2650		
	図書スペース	タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2650		
	幼児見守りスペース 廻り	クッションフロアt=4.5敷き 通路部分/タイルカーペットt=7.0敷き	※			什器壁/H=2100 曲げベニヤt=5 下地材内外2枚張り 一部シナランバー本棚仕様 ～OOS塗装	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2650 （什器部分は天井オープン）	什器壁/H=2100 曲げベニヤt=5 下地材内外2枚張り 一部シナランバー本棚仕様 ～OOS塗装	
	貸出業支所カウンター	クッションフロアt=4.5敷き 通路部分/タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2650	カウンター/天板および来客側壁はリノリウム張り 下部ランバーオープン棚～汚止め塗装	
	収納	タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～ビニルクロス貼り	※	PB t9.5 ～ビニルクロス貼り	2650	ランバー材収納棚（ダボレール仕様）～汚止め塗装	
	廊下	タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装 腰壁：シナベニヤ t12 ～UC塗装 H=1200	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2650		
	トイレ	長尺シート t=2.0貼り	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～ビニルクロス貼り	※	PB t9.5 ～ビニルクロス貼り	2300		
	交流キッチンスペース	長尺シート t=2.0貼り	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2650	作業カウンター/天板及び来客側壁はメラミン材 下部オープン棚 メラミン材 キッチンカウンター/天板および下部収納共SUS材	
	キッチン横収納	長尺シート t=2.0貼り	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～ビニルクロス貼り	※	PB t9.5 ～ビニルクロス貼り	2650	ランバー材収納棚（ダボレール仕様）～汚止め塗装	
2階	階段ホール（2）	タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装 腰壁：シナベニヤ t12 ～UC塗装 H=1200	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2500		階段部分段鼻/金属製ノンスリップ材 階段部分手摺/堅木無垢棒材+堅木材加工ブラケット ～ウレタンオイル塗装
	多目的スペース	タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装 腰壁：シナベニヤ t12 ～UC塗装 H=1200	※	化粧石膏吸音ボード t=9.5	2500		
	収納	タイルカーペットt=7.0敷き	※	ソフト巾木	40	PB t12.5 ～EP-G塗装 腰壁：シナベニヤ t12 ～UC塗装 H=1200	※		2500		
仕様											

凡例

St	鋼	SUS	ステンレススチール	AI	アルミニウム	FB	フラットバー	L	アングル	C	チャンネル	HL	ヘアライン
PB	プラスターボード	JPB	ジョイントプラスターボード（寒冷紗パテ処理含む）	CON	コンクリート	SNC	シンダーコンクリート	LGS	軽量型鋼	※	木	CB	コンクリートブロック
GW	グラスウール	FP	フォームポリスチレン	EPS	ビーズ法ポリスチレンフォーム	GL	GL工法						
SOP	合成樹脂調合ペイント	EP-G	艶あり合成樹脂エマルジョンペイント	VP	塩化ビニルエナメル	CL	クリアラッカー	UC	ウレタンクリア	COS	浸透型カラーオイルステイン	WAP	環境配慮型超低臭水性反応硬化型塗料

08 構造計画

２階建ての木造のため新２号での構造検討を行います。構造性能等級２のしゅとくについては実施設計で検討することとします。
近隣の状況より、軟弱地盤での計画が想定されます。実施設計時には地盤調査をし、地盤置換工法、改良パイル杭工法、木杭工法などを比較検討して合理的な基礎を検討します。

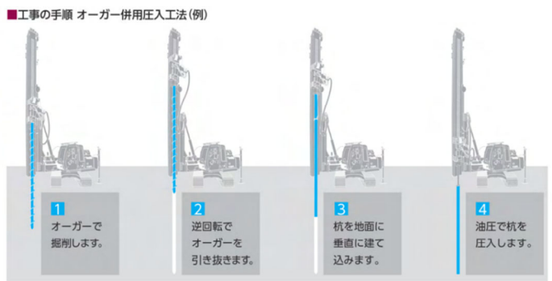
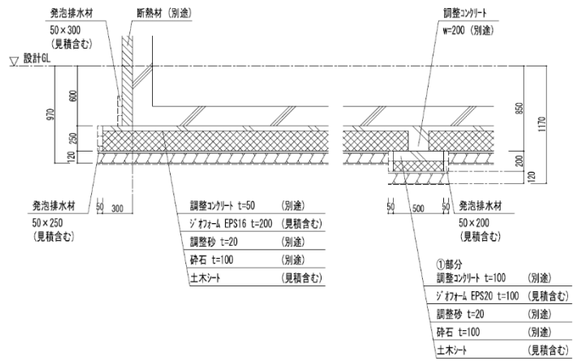
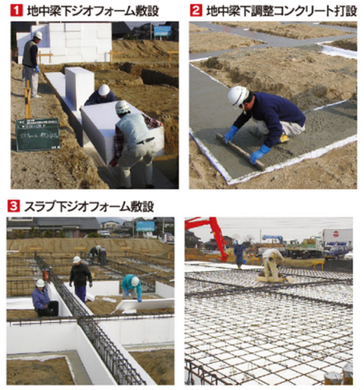
上部構造は在来木造とし、道産材を活用した一般流通寸法から逸脱しない集成材で計画します。建物の最終的な形状にもよりますが許容応力度計算を用いることで合成の確保と、部材寸法の合理化の両立を図ります。

09 外皮計画

外皮の計画については前提条件である ZEB ready の基準を満たすように詳細に数値を確認しながらスペックを決定していきます。基本設計での計画としては、外壁は充填断熱+付加断熱とし、天井断熱については、構造部材の一部表しも想定することから野地断熱工法を計画します。

■基礎断熱　　：FP 板(B-3)t=75
■外壁断熱　　：HGW16kg t=105 + FP 板(B-3)t=50
■野地断熱　　：硬質ウレタンフォーム保温板 t=25+100
■外部サッシ　：アルミ樹脂複合サッシ Low-e ペアガラスガス入り空気層 16m/m

地業の比較検討イメージ

	A案	B案
分類名	支持杭工法	地盤置換工法
工法名	H 型 PC パイル：H－A P 工法　（GBRC 性能証明第 06-23 号）	コロンブス+工法
工法概要	 	 

4 電気設備計画

01 計画概要

電気設備については一般的な設備を網羅する計画となるが、図書機能の貸し出しシステムや検索システムに対応するネットワークの構築、及び、公衆無線 LAN の整備など通信ネットワークの重質化を図るものとする。

- 幹線　　：低圧受電
- 照明　　：LED 照明、各種センサー、各種タイマー
- 放送　　：BGM スピーカー、イベント用 AV ワゴン
- 通信　　：公衆無線 LAN、有線 LAN
- 防火　　：消火器、誘導標式、排煙上有効な開口部
- エレベーター：小型エレベーター(車いす対応)

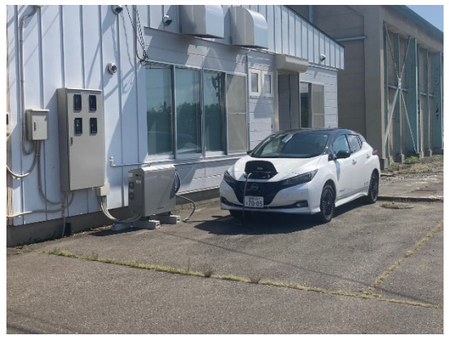
02 再エネ省エネ導入計画

具体的な再エネ省エネ導入については実施設計時に詳細を検討することとなりますが、事例を下記に記します。

太陽光発電イメージ



V2H イメージ



5 機械設備計画

01 計画概要

機械設備については省エネ、再エネ利用とリンクした計画が必要となります。特に冷暖房、気については機器選定による省エネ化を図る一方で、詳細な省エネ計算をすることで過剰設備せずに ZEB 基準を満たすことを目指します。

- 冷暖房　　：EHP エアコン方式
- 換気　　：第 1 種換気、第 3 種換気
- 給水　　：水道直圧方式
- 排水　　：自然流下、浄化槽方式
- 衛生　　：大便器、小便器、洗面器、手摺、パブリックキッチン

02 再エネ省エネ導入計画

具体的な再エネ省エネ導入については実施設計時に詳細を検討することとなりますが、事例を下記に記します。

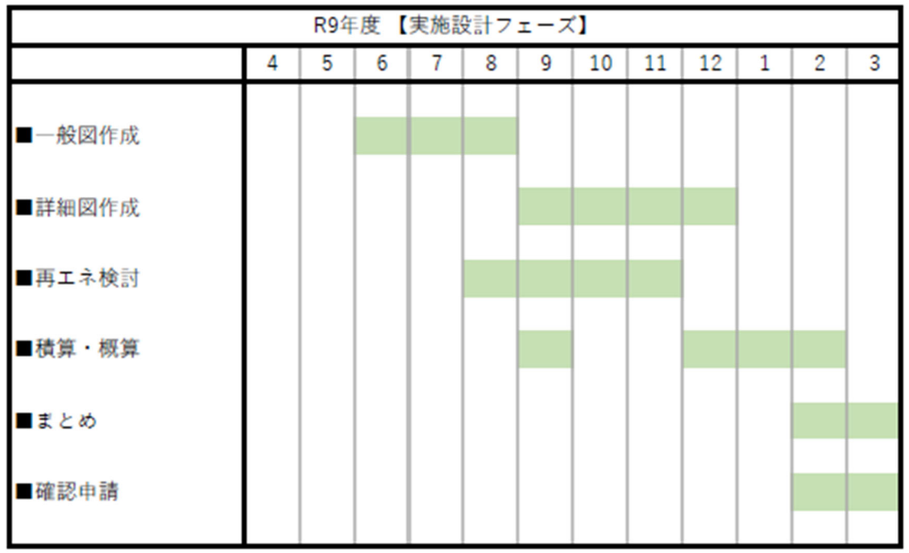
高効率エアコンシステムイメージ

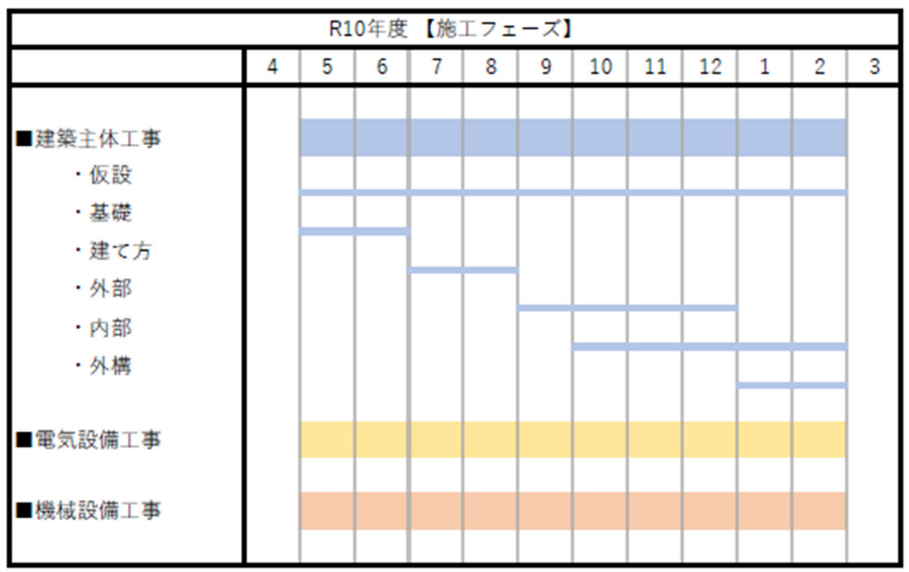


6 事業計画

01 事業スケジュール

R7 年度の基本設計以降、実施設計は R9 年度を予定しています。
実施設計以降のスケジュールを下記の通り示します。





02 工事概算

概算工事費について下記の通り記します。
※再エネ導入費用は実施設計にて検討のため含みません。

■ 直接工事費

01 建築主体工事

・直接仮設	:	3,000,000	
・土工	:	1,000,000	
・地業	:	5,500,000	
・基礎	:	5,500,000	
・木工	:	16,000,000	
・建具	:	12,000,000	
・内外装	:	16,000,000	
・家具等	:	5,500,000	
・外構	:	1,500,000	
		66,000,000	①

02 電気設備工事

・電灯	:	5,500,000	
・動力	:	400,000	
・弱電	:	800,000	
・通信	:	400,000	
		7,100,000	②

03 機械設備工事

・空調	:	4,000,000	
・換気	:	1,700,000	
・給排水	:	2,500,000	
・給湯	:	500,000	
・衛生	:	1,700,000	
・消火	:	100,000	
		10,500,000	③

■ 直接工事費合計①+②+③	83,600,000 円	④
■ 経費	25,400,000 円	⑤
■ 工事価格④+⑤	109,000,000 円	⑥
■ 概算工事費	**119,900,000 円**	